

ゴルフを通じた地域住民の健康増進に向けた共同研究を開始

2025 年 9 月 4 日

八戸学院大学

株式会社太陽生命少子高齢社会研究所

公益財団法人日本ゴルフ協会

八戸学院大学（学長：小林 眞）、株式会社太陽生命少子高齢社会研究所（代表取締役社長：安田 誠利）ならびに公益財団法人日本ゴルフ協会（会長：池谷 正成）は、八戸圏域の住民を対象とした「ゴルフを通じた地域住民の健康増進に向けた共同研究」（以下「本研究」）を開始しましたのでお知らせいたします。



左から 八戸カントリークラブ 正部家社長、日本ゴルフ協会 ゴルフ振興推進本部 ゴルフと健康部会 中島部会長、八戸学院大学 小林学長、太陽生命少子高齢社会研究所 安田社長、太陽生命 八戸支社 海老原支社長

高齢社会において、中高年齢者および高齢者の健康寿命の延伸は喫緊の課題であり、身体活動の促進および運動習慣の獲得は、生活習慣病の予防、認知症のリスク低減、QOL（生活の質）の向上等に寄与するものです。

本研究では、八戸カントリークラブにて、八戸市と階上町の後援のもと日本ゴルフ協会（JGA）による8週間のプログラムである「JGA WAG スクール」を開催し、その前後での身体的および認知的健康指標を評価し、ゴルフを通じた健康増進の効果を検証します。

■研究テーマ : 八戸圏域の45歳以上を対象としたゴルフ導入プログラムの健康および認知機能への影響に関する研究

■共同研究期間 : 2025年8月29日～2026年3月31日まで

■対象者 : 45歳～59歳の男女10名と60歳以上の男女10名の計20名（計画）

今後も、関係各所と連携しながら、より良い健康環境の構築に寄与してまいります。

以 上

別紙

この共同研究は、八戸カントリークラブにて開催される JGA WAG スクールを活用して実施します。実施概要および実施体制については以下のとおりです。

■JGA WAG スクール概要

実施期間：8週間（9月5日（金）～10月24日（金）のうち、毎週金曜日）

実施場所：八戸カントリークラブ

■実施体制

〔主催〕 八戸学院大学

〔共催〕 株式会社太陽生命少子高齢社会研究所・公益財団法人日本ゴルフ協会
八戸カントリークラブ・太陽生命保険株式会社

〔後援〕 八戸市・階上町・東北ゴルフ連盟・青森県ゴルフ連盟

（事務局）八戸学院地域連携研究センター



八戸市において市の歴史とともに歩み、地域に根ざした人材教育を担ってきた。近隣自治体や他大学、各企業と連携協力協定を締結し、さまざまな地域貢献活動（八戸市と共同で地元食材を活用した商品開発、高校での健康教室の開催、地域イベントへの参加等）を通じて、地域社会と連携した特色ある教育プログラムを実施している。



少子高齢化などの社会的課題の解決に専門的な調査・研究を通じて貢献することを目的に、太陽生命の100%子会社として2020年4月に設立。「少子化対策」・「健康寿命の延伸」といった観点から、中長期的な視点で調査・研究を行い広く社外へ公表し、また、研究の成果や、新たに発掘した技術・サービス等を保険商品・サービスへ展開するなど社会実装可能な提言やサービス開発を行っている。



公益財団法人 日本ゴルフ協会
JAPAN GOLF ASSOCIATION

1924年に創設された我が国におけるゴルフの統括団体。日本のゴルフ発展のために公式競技の開催やナショナルハンディキャップ制度の実施、ゴルフの精神の正しい順守、ゴルフのルールとエチケット・マナーの普及に取り組んでいる。また、2021年より、ゴルフの健全な普及と振興を目的とし、「ゴルフ振興推進本部」を設置して事業を推進している。

【本件に関するお問い合わせ】

八戸学院大学	八戸学院地域連携研究センター	0178-25-2789（代表）
株式会社太陽生命少子高齢社会研究所	研究開発部	03-3272-6072（代表）
公益財団法人日本ゴルフ協会	ゴルフ振興推進本部	03-6275-2644（代表）